

補正予算 原油価格・物価高騰に対応した生活支援・事業者支援事業に係る補助金等を可決



議場風景（6月定例会）

6月定例会には、市長提出議案13件が提出され、すべての案件を原案のとおり可決・承認・同意するとともに、諮問3件を適任としました。

主な議案の内容は次のとおりです。

市長提出議案

例 指定管理者の公募に伴う条例の改正

○行田市体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例
（原案可決）

次期指定管理者の選定を公募により決定することとしたため、指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て、体育施設の利用に供さない日及び利用時間を変更することができるよう、条例の一部を改正しようとするものです。

（主な質疑）

問 なぜ施設の指定管理者を公募型に変更するのか。また、なぜ公募にすると一部改正が必要となるのか。

答 令和5年度からの次期指定管理者の選定について、関係部署で構成する指定管理者制度検討委員会において行田市指定管理者制度運用方針に基づき検討した結果、公募の上決定することとした。また、公募に当たっては、指定管理者の創意工夫により、休館日や利用時間を柔軟に設定することを可能にするため本条例

を改正するものである。

問 事前承認を受けることで柔軟な運営が可能となるとはどういうことか。

答 条例において休館日や利用時間が定められている。公募することとしたため、指定管理者の自主的な経営努力や主体性により、事前の承認を前提として休館日や利用時間を変更できるようにするものである。これによって、利用者へのサービス向上につながるようとするものである。

補正予算 補正総額 9億1190万円余り

○令和4年度行田市一般会計補正予算
（原案承認・原案可決）

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び同臨時交付金の原油価格・物価高騰対応分を活用した施策に関する経費のほか、臨時交付金以外の国・県支出金を財源とする経費を措置するもので、歳入歳出それぞれ9億1190万円を追加し、予算の総額を273億6190

万円とするものです。

歳出の主なもののうち、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業として、農業費では、花きの需要が減少する中、忍城址周辺を花で彩る花き農家応援事業に要する経費を措置するものです。

商工費では、地域経済活性化のため、キャッシュレス決済ポイント還元事業に係る経費を措置するとともに、ポイント還元事業をはじめとするデジタル施策の推進を図るため、スマートフォンの購入費補助を行うほか、本市への団体旅行を企画した旅行会社に対して助成金を交付するため、の経費を措置するものです。

消防費では、消防庁舎の感染防止対策として机や椅子の入替えを行うほか、飛沫感染防止効果のある自動式心臓マッサージ器の予備ポンペ購入費を措置するものです。

同臨時交付金の原油価格・物価高騰対応分を活用して実施する事業として、民生費及び衛生費では、物価高騰の影響を受ける市内の社会福祉施設や医療機関等に対し、継続